

令和4年度 宗谷複式教育研究連盟活動推進計画

I 活動方針

- (1)「宗谷の風土に生きる創造性豊かなたくましい児童の育成」を期して、へき地・小規模・複式教育における教育問題の解明に取り組み、宗谷管内の一つ一つの学校の質的向上を図る。
- (2)加盟校の減少による単一校町複が増加など研究推進の困難性克服のため、市町村研や管内教育連携会議との連携を深め、研究活動の充実を図る。
- (3)研究推進や組織運営にあたっては、全道へき地複式教育研究大会宗谷大会（第50回及び第64回）の成果と課題を踏まえ、研究・交流の充実を図る。

第50回全道へき地複式教育研究大会宗谷大会【五つの財産】

- ① わかる授業への改革を目指し、全道の仲間と交流する。
- ② 子どもの変容を図り、学力の向上を目指す。
- ③ みんなが心を合わせて取り組む学校を、校長を中心に全教職員で創る。
- ④ 教育関係者との連帯と共同を強め、「宗谷は一つ」を感じ合う。
- ⑤ 質素・儉約を旨としつつも、充実した研究会・豊かな集録を、市町村教育の充実改革を目指し、各教育委員会の財政支援をもとめ、つながりをますます強める。

～第64回全道へき地複式教育研究大会宗谷大会5つの方針より～

1. オール宗谷で学びの場をつくる

稚内市、枝幸町、猿払村以外は町内に複式校が1校しかなく、加盟校のみでは研究を深めることは難しい。町教研その他の関連団体の力を借り、単式校とも連携して研究推進することが大切である。また、近隣市町村と連携することも大切である。

2. 全道に宗谷の教育を発信し、全道から学ぶ

宗谷には様々なすぐれた教育実践があるが、遠隔地のため他地域との研究交流が不足しがちである。道へき・複連との連携により、積極的に宗谷の研究実践を発信し、全道の実践から学ぶことにより、研究を深め、改善することができる。

3. 子どもの現実から出発し子どもに返す

宗谷の教育は、子ども達の現実に、そして子ども達が暮らす家庭や地域の現実にしっかりと向き合い、力合わせをしながら、子ども達を伸ばそうとしてきた。研究に当たっても子どもや地域の実態を踏まえることが大切である。

4. 創意工夫により予算の有効活用

加盟校数、会員数の減少は、財政は縮小しているが、創意工夫により有効に活用して行くことが必要である。

5. ICTの活用による情報共有

離島を抱え広大な面積の宗谷においては移動の困難性が、研究交流の障害になっている。しかし、ICTを活用することにより、時間・空間を超えて情報交流をすることができる。

II 研究推進の方針

道へき研究主題 『主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった

人間性豊かな子どもの育成』

～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

宗複研究主題 『宗谷の風土に生きる創造性豊かなたくましい児童の育成』

～地域性を生かし、一人一人を伸ばす小規模校教育の推進～

Ⅲ 活動計画

① 第48回宗谷管内複式教育研究大会猿払・浜頓別・中頓別大会の開催・・・・・・・・・・

□期 日 令和4年9月22日（木）

□日程・内容

- 午前：知来別小学校 浜鬼志別小学校 浅茅野小学校の授業公開・学校研究発表・研究協議
- 午後：開会式／教科等研究会

□参加対応 これまでの「研究の広場」としての意義を大切に

- ・陸地の平日開催。午前の公開授業への参加、午後の教科等研究会への参加体制の呼びかけ。
- ・平日開催なので、臨休体制をとるのが難しい学校があると予想されます。そんな場合でも各学校で最大限、学びの場に派遣していただきたい。特に初任段階5年までの若い教員や各学校の研究担当者には特別な配慮をおねがいしたい。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため参観人数を調整する場合もありうる。

②第4回宗谷管内複式教育実践講座の開催・・・・・・・・

□目 的：へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営、学習指導の充実に努める。

□講座内容⇒ICTを活用した授業づくり（へき地複式に絞った）

□講師について

北海道教育大学 旭川校僻地・小規模教育研究センター 准教授 芳賀 均 様

□開催日程・日時⇒令和4年5月12日（木）稚内市14：30～16：30

令和4年5月13日（金）枝幸町14：30～16：30

□参加体制について⇒ハイブリッド方式（来場型とオンライン型の同時開催）

③情報活動の充実・・・・・・・・・・

- ・レンタルサーバーにより宗複連ホームページを開設し、情報発信する。
- ・管内加盟校の概要、研究主題、研究内容、特色ある教育活動について集約し、情報交流する。
（管内複式校一覧～ホームページ掲載も）
- ・各市町村複式教育部会の活動状況を交流する。（あしたもともだち）
- ・各加盟校での研究授業公開の情報交流、指導案等の蓄積と交流。

④道へき・複連との連携、全道研究大会・全国大会参加の取り組み・・・・・・・・

○全国へき「第9次長計」や道へき・複連「第10次長計」との関連も図り、教育研究の活動を進める。

○第71回 全道へき地複式教育研究大会 胆振大会への積極的な参加。

（参加目標：管内5名以上）

期日 令和4年9月14日（水）全体会・分散会 15日（木）分科会

○第71回全国へき地教育研究大会 山形大会

期日 令和4年9月29日（木）～30日（金）

⑤教育団体との懇談と連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- ・宗谷の教育活動を充実、発展させるうえで、教育関係団体、研究団体との協力、共同は不可欠と考えます。それぞれの団体の自主性や独自性を堅持し、一層の宗谷の教育研究の充実、発展ならびに各学校の教育研究の充実、発展を共通の願いとして、宗谷校長会、宗谷公立学校教頭会、宗谷教育研修センター、宗谷管内教育研究連携会議との連携を図る。
- ・宗谷管内教育研究連携会議の構成団体の一員（委員長・事務局長が役員として参加）として管内教育発展のため責任を果たす。
- ・宗谷教育研究センターとは、本連盟の構成母体である市町村複式教育部会の研究の推進を図るために連携を強める。今後も研究所主催の研究会や講座等への参加を働きかける。

⑥へき地指定基準改定への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・

- ・次回の基準見直しに向けて、管内関係機関や道へき・複連、全へき複連と同調し、関係情報の収集に努める。

⑦宗谷複式教育研究連盟活動推進計画・・・・・・・・・・・・・・・・

月	日	曜	会議名・研究会名
4	20	水	令和4年度宗谷複式教育研究連盟定期総会
4	20	水	令和4年度第1回役員研修会
5	13	金	令和4年度北海道へき地・複式教育研究連盟定期総会
5	12	木	令和4年度 宗谷複式教育実践講座 稚内会場（ハイブリッド方式）
5	13	金	令和4年度 宗谷複式教育実践講座 枝幸会場（ハイブリッド方式）
6	15	水	第1回市町村代表者・第2回役員研修会
8	19	金	第3回役員研修会
9	14	水	第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会1日目
9	15	木	第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会2日目
9	22	木	第8回宗谷管内教育研究大会猿払・浜頓別・中頓別大会 兼 第48回宗谷管内複式教育研究大会猿払・浜頓別・中頓別大会
9	29	木	全国へき地教育研究大会 山形大会1日目
9	30	金	全国へき地教育研究大会 山形大会2日目
11	30	水	第4回役員研修会
2	9	木	第2回市町村代表者・第5回役員研修会

令和4年度 宗複連研究部・活動計画

I 研究主題

宗複研究主題 『宗谷の風土に生きる創造性豊かなたくましい児童の育成』
～地域性を生かし、一人一人を伸ばす小規模校教育の推進～

北海道へき地・複式教育研究連盟 研究主題

『主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成』
～児童一人一人が仲間とつながり、
地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

II 研究推進の方針

- (1) 宗谷管内の小規模校の教育課題を共同の力で解決する方策を視点として推進にあたり、教育活動の質的向上と充実に努める。
 - ・どのような教育実践が管内各地、各学校でなされているか。 [実態の把握]
 - ・新学習指導要領実施による教育課程の創意工夫は何か。 [方策の還元]
- (2) 本連盟の研究推進の充実・創造的発展の推進役となり、研究の主旨、内容を各市町村に広く働きかけるとともに連絡・調整にあたる。

III 今年度の重点事項

- (1) より参加しやすい管内複式教育実践講座の実施
- (2) 道へき・複連との研究連携
 - 全道へき複研大会胆振プレ大会(ファーストステージ)への参加推進
ライブ配信を予定しており、各校が参加しやすい年間計画を配慮する

IV 具体的活動内容

- (1) R4年度・第6回宗谷管内複式教育実践講座実施

■ねらい

- 初めて複式学級を担当する先生や初任者の先生の学びの場とする。
 - 複式授業の進め方、授業づくりの基本を学ぶ。
 - 参加者の課題意識を共有し、学びのネットワークづくりのきっかけとする。
 - ・稚内、枝幸会場で実施し、オンラインでも参加できるハイブリット型講座を開催する。
- 日時 5月12日(木)稚内会場、5月13日(金)枝幸会場 14:30～
講師：芳賀 均(北海道教育大学教育学部旭川校准教授)

- (2) 管内への情報発信調査・情宣部と連携(HPへの掲載)

- ・研究部情報(役員研修会の内容)の発行
- ・複式教育実践講座の内容紹介
- ・研究大会参加報告

- (3) 道へき・複研究大会等の情報の収集と発信

- ・全道へき地複式教育研究大会 胆振プレ大会 ※ライブ配信を予定
9月14日(水) 全体会(基調報告、分散会)、交流会(未定)
9月15日(木) 公開授業、研究発表、研究協議

※ 一般教諭の研究大会参加推進

令和4年度 宗谷複式教育研究連盟 調査情宣部 活動計画

1 活動方針

- (1) 本連盟の研究や運営に関する会員の意向を広く調査し、本研究会の自主的運営の貴重な資料とする。
- (2) 管内のへき地複式校や複式教育研究会の活動の様子について交流を図る。
- (3) へき地小規模校の課題や実践を把握し、その対策について検討を図る。

2 活動計画

- (1) 管内複式研究会活動の交流を図り、各市町村組織の研究・交流、学校研究の充実に寄与する。
- (2) 小規模校や複式学級における特色ある活動や指導実践を情報化し、会員相互の連帯を強め、資質の向上に資する。
- (3) 今後の本連盟の研究や運営に向けて、アンケートや意識調査を行う。

3 具体的業務計画・担当

- (1) 複式校間の情報交流推進、ホームページ掲載
 - ①「管内複式校一覧」～研究部と連携して学校情報をクラウド上に集約する。
 - ②「複式校紹介」～フォームなどを活用し、加盟校の紹介文を集約・掲載する。
⇒7月 日案内 7月末× Google スプレッドシートに入力 or メールにて
 - ③複式校をつなぐ交流「あしたもともだち」の編集
年1回発行～12月依頼→1月末×→2月ホームページ掲載
※事務局校が各市町村の活動をA4版1頁にまとめて紹介
- (2) 本連盟の運営や今後の方向性についてのアンケートや意識調査の実施
- (3) 道へき・複のアンケート調査への協力
- (4) 宗谷複式教育研究連盟ホームページを通した研究活動の管内・管外への発信
 - ① 各種事業等の成果や課題についての掲載
 - ② 各市町村複式教育研究大会に関わる学習指導案や実践事例の集約・掲載
 - ③ 各市町村のオンライン授業・研修等、日常的な実践事例の集約・掲載

<資料>

令和3年度 加盟校・担当者・スケジュール

	部会長 所属校	事務局長 所属校	加盟校 連絡先			
稚内市 6	富磯小 中野 悟	大岬小 中村 繁仁	天北小中 黒木 敏郎	声問小 齊藤 康輔	増幌小中 山本以久子	宗谷小 工藤 真
幌延町	問寒別小中 大内 寿晃	問寒別小中 高木 一茂				
利尻町	仙法志小 関谷 克志	仙法志小 廣川 勲				
利尻富士町	利尻小 大場 久稔	利尻小 上野 義一				
礼文町	香深井小 菊地 俊雄					
猿払村	浅茅野小 荒谷 卓朗	浅茅野小 真鍋 奈美	知来別小 倉 照彦	浜鬼志別小 嶋崎 健一		
豊富町	兜沼小 佐藤 佳弘	兜沼小 志田 雅人				
枝幸町	風烈布小 相馬美智枝	音標小 有路 直人	山臼小 羽賀 正人	岡島小 引地 宙志	目梨泊小 篠原 純也	
8月	加盟校紹介（HP）～各校对応					
12月	あしたもともだち（HP、クラウド）～各市町村事務局校对応					
加盟校 数	19校（稚内市 6、枝幸町 5、猿払村 3、礼文町 1、幌延町 1、利尻町 1、利尻富士町 1、豊富町 1）					

メールアドレス一覧

富磯小 中野 悟	tomiisokoutyou@cronos.ocn.ne.jp tomiisokyoutou@cronos.ocn.ne.jp
大岬小 中村 繁仁	wakkaoom01@fork.ocn.ne.jp wakkaoom02@fork.ocn.ne.jp
天北小中 黒木 敏郎	tenpokukoutyou@star.ocn.ne.jp tenpokusyo@eagle.ocn.ne.jp
声問小 齊藤 康輔	wakkakoekoutyou@tiara.ocn.ne.jp wakkakoekyoutou@tiara.ocn.ne.jp
増幌小中 山本以久子	masuhorokoutyou@jasmine.ocn.ne.jp masuhorokyoutou@jasmine.ocn.ne.jp
宗谷小 工藤 真	wakkasoukoutyou@jeans.ocn.ne.jp wakkasoukyoutou@jeans.ocn.ne.jp
問寒別小中 大内 寿晃	toishochu.kocho@horonobe.ed.jp toisho.kyoto@horonobe.ed.jp
仙法志小 関谷 克志	senhoushi-jshead@town.rishiri.hokkaido.jp hirokawa-isao@town.rishiri.hokkaido.jp
利尻小 大場 久稔	ooba-h@kyoi-rishirifuji.jp ueno-yoshikazu@kyoi-rishirifuji.jp

香深井小 菊地 俊雄	kashou_kouchou@reikyo.jp
浅茅野小 荒谷 卓朗	ajes.kocho@school-sarufutsu.jp ajes.kyoto@school-sarufutsu.jp
知来別小 倉 照彦	cbes.kyoto@school-sarufutsu.jp cbes.kocho@school-sarufutsu.jp
浜鬼志別小 嶋崎 健一	hoes.kocho@school-sarufutsu.jp hoes.kyoto@school-sarufutsu.jp
兜沼小 佐藤 佳弘	kabuto.kouchou@hkd-toyosho.ed.jp tyt-kabutonuma-sho-2@hokkaido.school.ed.jp
風烈布小 相馬美智枝	furesyo-koutyo628@flute.ocn.ne.jp furesyo-kyotou@flute.ocn.ne.jp
音標小 有路 直人	otosyo-koutyo153@flute.ocn.ne.jp otosyo-kyotou@flute.ocn.ne.jp
山臼小 羽賀 正人	yamasyo-koutyo4770@flute.ocn.ne.jp yamasyo-kyotou@flute.ocn.ne.jp
岡島小 引地 宙志	okasyo-koutyo4800@flute.ocn.ne.jp okasyo-kyotou@flute.ocn.ne.jp
目梨泊小 篠原 純也	menasyo-koutyo10@flute.ocn.ne.jp menasyo-kyotou@flute.ocn.ne.jp

令和4年度 宗谷複式研究連盟会計 予算案(詳細版)

収入の部

項 目	R3決算	R4予算	詳細	摘 要
繰越金	302,836	547,012		令和3年度より
市町村負担金	891,212	891,212	541,100	宗複市町村研割／宗複学校割／宗複会員割
			241,512	道へき複学校割／道へき複会員割
			89,600	全へき複負担
			19,000	管理職運営負担(新負担金)
運営基金	35,000	37,000	28,000	採用校長運営拠出金 7名
			9,000	昇任教頭運営拠出金 3名
その他	2	4		受取利子 等
合計	1,229,050	1,475,228		

支出の部

項 目	R3決算	R4予算	詳細	摘 要
総会費	0	57,000	44,000	総会旅費13名分の支給計
			13,000	総会昼食代930円×13名分
研究大会費	80,000	100,000		管内研現地実行委員会へ助成
会議費	9,768	17,000	17,000	役員会昼食代930円×6名分×3回
旅費	66,780	219,000	45,000	役員会旅費6名分の支給計×3回
			150,000	道へき大会派遣補助50,000円×3名分
			24,000	全へき大会オンライン参加費3,000円×8名分
専門部費	0	0		R4より項目廃止
研究費	39,044	60,000	60,000	教育実践講座講師旅費・日当・謝礼
事務局費	48,334	50,000	6,000	宗複連Pのレンタルサーバー契約料
			18,000	Zoomアカウント・プロプラン年間契約料
			26,000	通信費／送金手数料・ATM手数料
負担金	423,112	430,000	390,000	道へき連・全へき連へ送金
			40,000	実践事例集購入費
会計補償費	10,000	0		R4より項目廃止
予備費	5,000	542,228	5,000	宗谷美術展後援費5,000円
			537,228	予備費
合 計	682,038	1,475,228		

※各項目における執行が予算額を超過する場合は、予備費からの補填を基本とする。

※各項目における執行が順当に進んだ場合、予備費の残額が翌年への繰越の目安となる。

※負担金が集まる7月末までの運営に必要な経費は約15万円。この額が繰越の最低ライン。